

(呼びかけキーワード)

Help you!

me! ではありません。

まず、みなさんが、SPARJ の人脈ネットワークを利用いただき、助かる（儲かる）ことが先です。

そして、うまくいけば *me* も助けていただく。

それを期待して、みなさんの新しい挑戦をお手伝いします。

(はじめに)

「激変の世の中になってきた」というフレーズは、枕詞のごとく文章の書きだしに使われている。しかし、この数年の変わり方は、尋常ではない。日本にとって、おそらく戦後迎える最大の変革時代に入ったといえそう。技術、経済、政治、軍事・・・

サプライチェーン始め既存のビジネスモデルが崩壊し、新たなエコシステムが生まれる。試行錯誤しながら、大半は失敗しながらも、一部の先見性のあるアイデアが生き残る。多くの人にとっては、過酷な辛い時代にはいりこんだが、動向を見極め、知恵をしぼれば、チャンスはある。

これを乗り越えるには、新しい発想が求められる。当然、一人の力では難しい。仲間を募り（できたら異質の経歴を持つ違った発想も加えて）、チーム力として探し出し、行動に移す。そこに SPARJ の人脈ネットワークを利用いただきたい。

(SPARJ の存在価値)

1. 3D デジタル（採取・処理・表示）に関わる技術・市場の世界動向の情報提供
2. 20 数年間続けてきた活動中で得られた人脈ネットワーク、各種分野（産学官）現在 約 4500 人

<2026 施策案>

1. 定常は、Plaza 各種クラブ活動中心 オンライン またはリアル
2. 2026 年に、1 回の大会 SparPlaza2026 を開催する。1 日のみ。 9 月上旬 or 10 月下旬？
キャッチフレーズ「防災 3D」 2025 年の「防災日本」は、時期尚早であった。
3. 大会は、各種 Plaza クラブ活動の横のつながりをねらう。総参加者数 200～300 人
4. 従来のような事例発表や講演ではなく、問題提起、課題解決にむけての知恵を集める。クラブ活動活発化と新メンバー募集を目的とする。あるいは、新規クラブ活動テーマの提案。スタートアップ育成。
5. 発表（提案）参加は有料とする。発表により、大きなメリットが得られる。
6. 基調講演は、1 人（場合によっては 2 人）だけは事務局から依頼、無料。
候補：①防災庁の実務担当若手 ②ADJ 社長 田邊さん ドローン新時代到来。「空モビ」
7. 出展ブースは作らない。長机 1 つとポスター 1 枚。パーティションなし。 万円
8. 講演会場 参加者 40～80 人の規模。
9. 交流の場重視 サロン風。情報発信の場をさらに強化。
10. 会場候補 ・蒲田 大田区産業プラザ 4F or 小展示場 2F,
・大井町 きゅりあん 6F 5 区画を 2 つに仕切る。

<中期的目標>

1. ビジネスとして継続できる体制を作る。後継希望者がでてくるように、(赤字続きでは誰も引き継がない)
2. 収入の大半は、SPARJ 会の年会費（法人会員、個人会員）で充当する。
これまでは、イベントのスポンサー出展費が7, 8割
法人年会費 20 万円、個人会員 1 万円。
3. 個人会員のメリットは、各種 Plaza クラブ活動への参加、と SparView 海外ニュースの購読
ビジネスの芽を育てスタートアップが生まれることをねらう。
数年後に法人会員になることを期待。 若手もしくは経験豊富な気の若いシニアの出番。
4. 法人会員の主たるメリットは、SPARJ で人脈を活かした広告・宣伝を行うこと
イベント出展に、特別割引。
5. 2026 年中に、最低限の事務局経費を含めて安定した財政基盤を築く。 少なくとも先の見通しが得られることを目標とする。

<防災>

なぜ、防災に重点おくのか、

極めて範囲は広い、3D 情報が役立つテーマが無数にある。

しかし、これまでは民間ビジネスにつながるテーマが、まだ不鮮明であった。

災害分類 赤字：防災に3次元情報が役立つ



1. 自然災害(天災)

- 1-1. 気象災害 風災(台風) 降雨災害(洪水) 雪害 酷寒(気温低下)災害
酷暑(気温上昇)災害 霜害 雹害 雷害(落雷) 霧害 湿害、高潮、海水温上昇
- 1-2. 地変災害 震害(地震) 火山災害 地滑り災害(土石流)
- 1-3. 生物災害 ウイルス、病原菌(伝染病・風土病) 虫害 鳥害 貝害 獣害、植物害
山火事、海面上昇、隕石、オゾン層破壊、PM、太陽フレア

2. 人為災害(人災)

- 2-1. 都市公害 大気汚染 水質汚濁 騒音 振動 汚物・悪臭 地盤沈下 火災
- 2-2. 産業災害 工場災害(施設災害) 鉱山災害(施設災害) 土建現場災害(施設災害)
職業病・労働災害(人的災害) 放射線障害(人的災害)
- 2-3. 交通災害 陸上交通災害 飛行機事故 ドローン 船舶災害(火災・衝突・海難)
- 2-4. 戦争災害、テロ災害 ……意図的に害を与えるもの
- 2-5. 管理災害 調査粗漏による災害 設計・計画のずさんによる災害
施工不良&経年劣化への管理・補修の不備・怠慢による災害
行政処置の不当による災害 流言ひ語による災害(風評被害……意図的) SNS
予報警報の間違いによる災害 その他人間の英知の不測による災害
サイバー攻撃・詐欺

引用文献 <http://db2.littera.waseda.jp/saigai/1-1/1-1.htm>
大矢根「社会学的災害の一視点～被災生活の連続性と災害文化の具現化」
『年報 社会学論集』No.5,1992,p.141より。青字は俗称、赤字は筆者が追記したもの。

地球温暖化に由来する自然災害は、長い目で見た人為災害と言える。

新内閣で、河田先生と石破さんが画策してきた、国家としての防災取組の重要性、やっと、防災庁が来年から本格的に動き出す。予算を付けてテーマアップ。カネが動き始めると、注目度が一挙にあがる。大きな流れになるのは、数年かかるが、来年から少しは動き始める。この流れを、SPARJ の特徴のメインストリームとしたい。

<Plaza クラブ活動>

各テーマごとに、現状と今後の活動方針 および新たに立ち上げたいテーマを列記

1) GS (Gaussian Splats) の測量への適用 1 寸法精度機能

世の中の常識（世界・日本）として、GS は、非常に簡便、リアリティ、見栄えが良いが、測量グレードの精度は得られない。⇒ これに反抗。やり方と、用途によっては必要な精度が得られる。

見栄えの良さ、だけでも巨大なニーズとマーケットが存在し、急速に広がりつつある。SPARJ として、とくに力を入れなくても普及加速し始めた。プラント配管プレハブの火なし工事を例にして、研究会を立ち上げる。

理論的に、実現できることが、実証された。（添付 昆虫マクロ Gaussian レポート および投資ゼロ提案書「ちくわクラブ」参照）手法が確立できれば、日本からのユニークな試みとして、世界に発信したい。

11/13 精密工学会&写真測量学会 共同主催のシンポジウム 参加した。

写真測量学会 は、マクロな位置情報から降りてきたので、当初から GS の効果を高く評価。

河村は、兄弟関係にある ARIDA 研究会の幹事の一人。

上記シンポジウムで、志手先生（芝浦工大）3D 計測の技術歴史として、GS の位置づけも明確に解説。

2) GS (Gaussian Splats) の測量への適用 2 表現力重視

その他 GS 「防災 3D」として、無数の用途がありうるので、Plaza クラブに、いくつか取り上げていく価値はありそう。世界に発信できなくても国内マーケットだけでも、相当な広がりはある。

メタバースとしての存在価値は明らか、急速に利用広がる。

Plaza 活動にも、いくつかのテーマ取り上げる価値あり。三毛氏 SparPlaza2025 提案ブース資料参照

3) 3次元ビューワの選定ガイド

これまでポツリクラブとして、ウイーン工科大学が開発した Potree を取り上げ、4 回のハンズオンを実施してきた。今後は、対象を広げて他の〈無料?〉ビューワとの比較、選定ガイドなどに発展させていく。

4) プラント 3次元 Pla3 クラブ(2)

他のクラブ活動と違い、過去 5,6 回リアルで集まってきた。当面は、プラントエンジニアリング、設備運転・保全のライフサイクルの中で、異なるシステム間でのデータ連動に注力していく。

その一つが、エンジデータからメンテナンスデータへの連動である。世の中のデータオープン化・標準化などの大風呂敷を掲げるのではなく、狭い範囲、特定のシステム間の連携から着手。緒形氏（メンテ協）主導。

5) プラント 3次元 Pla3 クラブ(3)

エンジデータと、工事、内作システムとのデータ連動 是松さん（山九プラントエンジ）

6) 自治体 DX 喫緊の課題 下水道管理 ドローン

7) 超小型ライダーセンサー ドローン搭載も可 九工大 提案ブース資料参照

8) ゲンジクラブ ヴィタリテ 高本チーム

ゲームエンジンの 3D ゲームへの適用から、ヒューマンインタラクションの研究

9) セイコーウェーブ スタートアップ段階 3DVEGA スキャナー 設備管理、劣化診断

10) 超小型ドローン

- ・三毛氏 提案ブース資料参照

SparPlaza2025 の提案ブース参加

映像系なので、ちょっと違うか？

- ・FTR セミナー（11/11）で、LivereWare 全（チョン）氏講演。下水道問題もあり、売上急増 600 台、画面を見ながら遠隔操作可能。アンテナ 100～200m 可能

以下、他団体との共同開発

11) 防災ドローン、山岳救助、発災直後の人命救助 Dira, Moralis, 防災運用制度研究会

12) 生鮮食料物流ドローン ADJ 田邊さん

<余談 1>

SPARJ のミッションは、3 次元に関わる世界の動向を、いち早く日本にも伝えることである。世界のマーケットもこの GS の登場は重要なできごとであり、去年の Geoweeek 話題のなかでも、AI と並び 2 大ニュースとして取り上げられている。別に SPARJ がとり上げなくても、世界の動向は、多くのユーザが情報を把握している。

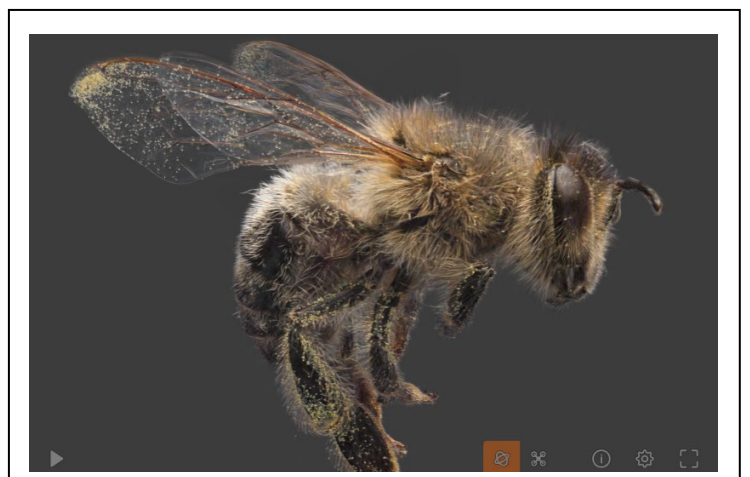
世界が変わってきたのである。ちょうど、明治維新での世界の新技术で、多くの仕事が消えていき、変化についていけない人が、苦境に陥ったのと同じである。

プラント 3 次元 Pla3 クラブ 分科会「ちくわクラブ」

見かけの美しさ、簡便さ、は、ほっておいても普及加速する。努力・苦勞する必要もない。日本としては、**GS 測量**の可能性に挑戦していきたい。先日の世界ニュース 2025-11-5「昆虫 GS」SVNo.44 は、大いに勇気づけられた。

著者 Dany Bittel は、デジタルアーティストである。つまり、理性（左脳）だけでなく美的感覚、芸術性、感性（右脳）を重んじるエンジニアである。人の心を、感動し、より深いところから動かすのは、この感性であり、小生が 3 次元計測に関わり始めた 20 年前から主張している思想と、ぴったり一致する。

https://www.sparj.com/report/GS_高精細昆虫.pdf



<余談2>防災庁への要望

防災庁への要望者準備 {発災直後のドローンによる人命救助支援の在り方、社会の仕組み}

無人機事故調査研究会 (Drone Incident Research Association (Dira))

会長 泉 岳樹 (都立大) ,Morals 本多会長、防災運用制度研究会 務台会長、・・・

共同で報告書作成予定 河田先生の指導を受けてまとめる予定

河田先生 日経記事 11/15 朝刊 p.27



SparPlaza2025 初日 (10/28)

河田先生とパネル情報交換

文明だけでなく文化 (これぞ、日本の世界に誇れる長所)

<余談3>格差是正

既得権にしがみつき、甘い汁を吸っていた連中は、ことごとく淘汰されていこう。

これまでの、鬱憤をはらす絶好の機会ともいえそう。別途作成

<余談4>50～100年後 世界の中での日本のあるべき姿

そのための憲法創成 別途作成

<余談5>子供たち、孫たちに 戦争の災禍に合わないために、われわれは今、何ができるか？

ATclub ゴマメの歯ざしり？ 別途作成

以上